

平成 28 年度第 3 回安曇野市博物館協議会 会議概要

- 1 会議名 平成 28 年度第 3 回安曇野市博物館協議会
- 2 日時 平成 29 年 3 月 16 日 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで
- 3 会場 安曇野市役所本庁舎 3 階 会議室 301
- 4 出席者 笹本会長、滝沢委員、赤沼委員、浅川委員、金井委員、高原委員、宮澤委員  
橋渡教育長、那須野文化課長、百瀬館長、宮本学芸員（豊科郷土博物館）、  
荒深館長（豊科近代美術館・飯沼飛行士記念館）、斉藤館長（田淵行男記念館）、  
大月館長（穂高陶芸会館）、宮下館長（高橋節郎記念美術館）、清水館長（貞  
享義民記念館）、内川館長（臼井吉見文学館）
- 5 担当課出席者 三澤文化振興係長、西山博物館係長、逸見博物館係主査、倉石博物館係  
員、松田博物館係員、丸山文化振興係主事、百瀬文化振興係員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0 人 記者 1 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 29 年 3 月 31 日

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会 （那須野文化課長）
- 2 あいさつ （橋渡教育長）
- 3 報告・協議  
(1) 平成 29 年度事業計画について  
(2) その他
- 4 その他
- 5 閉 会 （那須野文化課長）

○協議概要

(1) 平成 29 年度事業計画について

- 資料内容説明（各博物館・美術館長）
- 委員からの意見

会長・・・ それでは、委員の皆さんにご意見、ご協議をいただきたいと思います。今後の事業展開においてプラスとなるようなご質問、ご意見をお願いいたします。

委員・・・ 学校ミュージアムを見させていただきましたが、子どもたちは非常に喜んでいて、良い内容だと思いました。ただ、鑑賞の時間が短すぎると思います。少し展示内容を縮小して時間を延ばす工夫はできないでしょうか。そうすれば子供たちも、もう少し落ち着いて見られると思います。

会長・・・ まず、見に行っていてありがとうございます。数の問題というのはすごく大事です。私は博物館、美術館というのは動機付けが重要だと思っています。子どもたちに動機付けをするための企画だとしたら、考える時間がどのくらい必要か、事務局の方でより良い結果が出るようにしていただきたい。

委員・・・ 豊科近代美術館の特別展の中で、高田博厚没後 30 周年記念の企画がありま

すが、普段見られないパステル画、コンテ、リトグラフなどをこの機会に一堂に見られるということで、高田博厚の魅力向上につながるのではないかと思います。高田博厚の顕彰事業にさらに取り組んでもらいたいと思います。

また荻原碌山との関わりで言えば、高村光太郎が共通の友人ですので、光太郎つながりで碌山美術館と連携するような事業もお願いできたらと思います。

会長・・・高村光太郎という文学者を通じて、他の美術館や、文学という面から見れば図書館などと互いに連動できる可能性がある。違う切り口によってもっと面白いものができるのではないですか、という提案です。

近美・・・つい先日、鎌倉にある高田のアトリエを管理されている方から、アトリエを建物ごと処分したいという話がありました。文化課の職員と見に行ったところ、未収蔵のブロンズ像が2点あり、近代美術館で頂くという話をしてきました。またデッサン等もかなり残っていて、これも一部をいただけてきました。これらを含めて今度の企画で展示をしたいと思っています。今まで展示したことのないものを見ていただくのは、非常に価値があることだと思います。また高村光太郎との関係についても大事な点であるので、研究していきたいと思います。

会長・・・豊科近代美術館も碌山美術館も安曇野市の美術館であって、私も公もないというのが一般的な視点だと思います。そういった意味で、今のようなお話をもとに、ヨコにつながる雰囲気ができたらいいなと思います。

委員・・・高橋節郎記念美術館で以前デッサンなどが展示された時がありましたが、個人的に興味をわく作品がありました。高田博厚についても、彫刻だけでなくいろいろな物が見られるのは良いと思います。

近美・・・没後30周年の企画については、東松山市が熱心に取り組んでおり、そこから声がかかったものです。鎌倉、福井、東松山と当館の4つの施設で今年中に企画をやるという話になっています。

会長・・・高田博厚は重要な彫刻家ですので、そういったことを踏まえてより大事にしていきたい。作品が生まれるのには社会的背景や個人のつながりが大きく関係しています。博物館や美術館が連動してその時代が見えるようにすると、一つの作品がより理解しやすくなります。そういった意味で美術館・博物館の連携がさらに大事になってくると思います。

委員・・・郷土博物館の目標にある入館利用者数と外部利用者数とは具体的に何なのか教えてください。

郷土博・・・外部利用者数とは、本庁舎一階のロビーでやっている出前展示などに参加した方のアンケート回答数をカウントしています。

委員・・・豊科近代美術館では、購入予算は歳出予算に入っているのか、それとも別建てになっているのでしょうか。

近美・・・購入等については市の美術資料等選定委員会で決めていますので、近代美術

館の予算には反映されていません。

委員・・・夏の展示の美術館ワンダーランドでは、学芸員さんが若い作家さんと出会ってそこから展覧会を作っていくということですが、それに絡んで、旅費が足りるのか気になりました。十分な研究・調査をすれば、この金額では不安に思います。

もうひとつは全体への質問になりますが、大町の北アルプス国際芸術祭や信州デスティネーションキャンペーンとどのようにリンクするのか。それなりの方針を持って向き合う必要があるのではないのでしょうか。安曇野市の美術館・博物館の情報を、大町に集まる人たちに正確に伝えるような方策をお考えなのかどうか教えてください。

事務局・・・安曇野アートの関係から各館に話がきており、高橋節郎記念美術館や近代美術館で北アルプス国際芸術祭のパスポート販売について協力していきます。大町でも、安曇野市内の展覧会情報としてチラシの配布とポスターの掲示等をしてもらいます。信州デスティネーションキャンペーンについては、たとえば高橋節郎記念美術館では夏の企画展を一か月前倒して、キャンペーンに合わせていきます。ホームページのリンクなども行う予定です。

それから物品購入の関係ですが、昨年度から美術資料等選定委員会を組織し、寄贈・購入について審議していただいています。安曇野市発足以来購入はしていなかったのですが、今年度初めて作品を購入することになりました。今後も良いものがあれば購入していく形をとっていきたいと思います。

近美・・・旅費については、潤沢にあるに越したことはないと思いますが、可能な限り予定をかぶせたりしながら、予算のなかで何とかやっています。

委員・・・どの館もPRや新しい企画がありいいなと思います。色々な角度から色々な人を巻き込む活動をされていくといいのかなと思います。

希望ですが、学校ミュージアムは毎年2校ずつなので、9年間のなかで一度は経験できると思いますが、子どもたちの興味を湧かせるものなので、小中学校で1回ずつ経験できれば子どもたちの感覚も違ってくると思います。

もうひとつは以前飯沼飛行士記念館へ行った時、入館してから何をどう見ていいかわかりませんでした。これから小中学生を対象にするのであれば、展示の配置や順路などを工夫していただければと思います。

会長・・・市民をいかにして巻き込むか、その際に子どもたちにわかってもらうためには、大人に対するよりももっと簡潔にしなければいけない部分がありますので、展示についても少しずつお考えいただければと思います。

委員・・・郷土博物館のエントランスに高橋茂が作った陶板がありますが、現在は諸般の事情で全体が見られなくなっています。どこかに全体で見るとこういう作品だということがわかるように、何かつけていただけたらと思います。陶板が完

成したときに臼井吉見先生が来ておられて、親友の作品ということで目を細められていました。高橋茂は『安曇野』にも登場しますし、そうした意味でも今のままではもったいないので、ご考慮いただきたいと思います。

郷土博・・・ 具体化に向けて検討したいと思います。

委員・・・ 飯沼飛行士記念館に子どもたちが来た場合、大変なのではと思います。できれば大きな会場で厳選したものを見せてから、飯沼飛行士の偉業について話をしたうえで記念館を案内しないと子どもはわからないと思います。

飯沼館・・・ 記念館の奥の土間は広いのですが、50人も60人も入りません。とにかく最初は少なくともいいから深く知ってほしいというのが私の願いです。

委員・・・ それはすごく良いことだと思います。それから飯沼飛行士が最後どう亡くなったのかということもきちんと伝えたほうがいいですね。

飯沼館・・・ 戦死かどうかは別にしても、偉業そのものは否定されるべきではない。それはご理解いただきたいと思います。その後の軍国主義のなかでどう扱われたかは別問題で、偉業そのものに価値があるということを若い子どもたちに理解してもらいたいと思います。

会長・・・ ありがとうございます。最初の頃の論議する時間がなかった状況から、来年は何をするのか、それに対して皆さんが意見を言えるようになりました。

松本藩領ミュージアムや大町の芸術祭など、周りをきちんと見据えた上で美術館・博物館をやっていないと、前が見えないと思います。市単独ではできないことなどを考えると、私達はもう一回広い視野から見ていく必要がある。

最終的には市民の皆さんにとって、博物館・美術館はかけがえのない価値があるものだとして理解してもらわなければならない。そのためにも、引き続き双方ともに努力をよろしくお願いします。

報告・協議事項は以上となります。ご協力ありがとうございました。

## (2) その他

●第2次安曇野市文化振興計画の策定、文書館の設置について（事務局）

●次回会議予定について

事務局・・・ 次回の会議は平成29年5月中旬を予定しております。28年度事業報告について具体的なご意見をいただきたいと思います。よろしくお願い致します。本日は長時間にわたりご協議いただきまして、ありがとうございました。

以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。